



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プラウド日吉クロス	階数	地上7F
建設地	横浜市港北区箕輪町二丁目6番63	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域、工業集積地域	平均居住人員	361人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 竣工	評価の実施日	2017年11月9日
敷地面積	2,099㎡	作成者	山口 圭大
建築面積	926㎡	確認日	2017年11月9日
延床面積	4,641㎡	確認者	山口 圭大



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8** ★★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★★ B: ★★★★★★ C: ★★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 68% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 68%

④上記+ 68%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>先端的な環境配慮への取組みと、建物の一部に地域交流施設を設けることにより新しい地域貢献が可能な施設となるよう計画した。</p>	<p>その他</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本住宅性能表示基準 5.1断熱等性能等級4を取得。</li> <li>ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本住宅性能表示基準 3-1劣化対策等級3を取得。</li> <li>階高を2815mmとし、ゆとりある空間を演出している。</li> </ul>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配棟を道路境界線から十分に後退させることにより、周囲への圧迫感を軽減している。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全住戸に、Iコジエスを採用。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル促進対策として、住戸は二重天井とすることで、配管や配線が躯体や仕上材と錯綜しないようにしている。</li> <li>仕上げに関しては、躯体+軽鉄+仕上材とし、分別が容易にできるものとしている。</li> </ul>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅用に28台分(住戸数×48%)の駐車スペースと、105台分(住戸数×181%)の駐輪スペースを確保し、周辺の交通負荷抑制に配慮。</li> <li>住宅部分で断熱等性能等級4を取得しており、外皮の熱損失の防止及び、空調設備等に依るエネルギーの効率的利用に配慮している。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



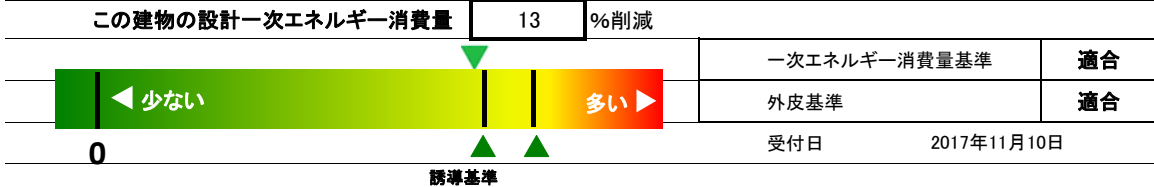
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **プライウド日吉クロス**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 3**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①日本住宅性能表示基準 5.1断熱等性能等級4を取得

③一次エネルギー消費性能 建物全体のBEI = 0.87

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】 4**

##### ■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

##### ■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥日本住宅性能表示基準 6.1ホルムアルデヒド発散等級(内装・天井裏等)3を満たしている

##### ■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯日本住宅性能表示基準 3.1劣化対策等級3を取得

⑰機械・配管支持方法は耐震クラスAを基準としている。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑲建物をセットバックして、自主的に道路状整備を行い、地域へ貢献した。

太陽光発電などの導入

\_\_\_\_\_

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入

\_\_\_\_\_